

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：初夏花壇におけるペチュニア優良品種の選定（第 67 回全日本花卉品種審査会）			
〔要約〕初夏花壇の植栽に使用するペチュニア優良品種として「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」、「カラーラッシュホワイト」、「スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル」、「スーパーチュニア ビスタ スノー」、「ビューティカル ボルドー」を選定した。			
キーワード ペチュニア、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 花植木研究室 協力機関 （一社）日本種苗協会		
実施期間	2021年度		

[目的及び背景]

千葉県の花壇苗類全体の作付面積は令和元年産で 112ha あり、出荷量全国第 2 位の大産地である（農林水産省・令和元年産花き生産出荷統計）。その中でも、ペチュニアは春から夏の花壇を飾る主要品目として、県内の多くの花壇苗生産者が栽培に取り組んでいる。花色や草姿の多様さから人気が高い一方で、同時期の他品目と比べて雨や蒸れ、暑さに弱いため、これらの弱点を克服した品種を選定する。なお、本試験は第 68 回全日本花卉品種審査会として実施する。

[成果内容]

- 1 定植後の平均気温はおおむね平年並みからやや高めに推移したが、6月6半旬から7月1半旬、8月2、3半旬は平年より低く推移した（図1）。気温が低く推移した6月6半旬から7月1半旬、8月2、3半旬は降水量が多く、日照時間は平年を下回った（図2）。これにより7月1半旬から病害が多発し、腐敗臭を伴う軟化症状や、葉の黒斑が多発した。8月2、3半旬も、曇雨天が続いた。このことから本年は、蒸れにより枯れにくく、曇雨天でも開花数が維持できる、または、天候回復とともに速やかに新しい花が開花する品種を選定できる気象条件であった。
- 2 令和3年7月14日に審査した15品種のうち、露地圃場に定植した際の被覆率（写真1）、花の傷みや株内部の葉枯れ症状の有無、開花数（立毛審査）から入賞となった品種は、「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」（（株）ハクサン）、「カラーラッシュホワイト」（（株）ミヨシグループ）、「スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル」（（株）ハクサン）、「スーパーチュニア ビスタ スノー」（（株）ハクサン）、「ビューティカル ボルドー」（（株）サカタのタネ）の5品種である（表1）。
- 3 1位「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」（写真3）は蒸れによる枯れが少ないために被覆率が高く、濃ピンクの絞り模様の花が多く咲く点が評価され、また、

審査会後の8月19日まで高い被覆率を維持した（表2）。

- 4 2位「カラーラッシュホワイト」（写真4）は蒸れによる枯れが少ないために被覆率が高く、花つきもよい点が評価され、また、審査会後の8月19日まで高い被覆率を維持した（表2）。
- 5 3位「スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル」（写真5）はわい性品種であるために被覆率は低いが、蒸れによる枯れが少なく、コンパクトな草姿と小輪多花の特性が評価された（表2）。
- 6 4位「スーパーチュニア ビスタ スノー」（写真6）は蒸れによる枯れが少ないために被覆率が高く、花つきもよい点が評価され、また、審査会後の8月19日まで高い被覆率を維持した（表2）。
- 7 5位「ビューティカル ボルドー」（写真7）は蒸れに弱い赤系品種としては被覆率が高い点、7月9日の調査後、審査会までの間に開花数が増加した（データ省略）ことから、花つきの良さが評価された（表2）。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域の花壇苗生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

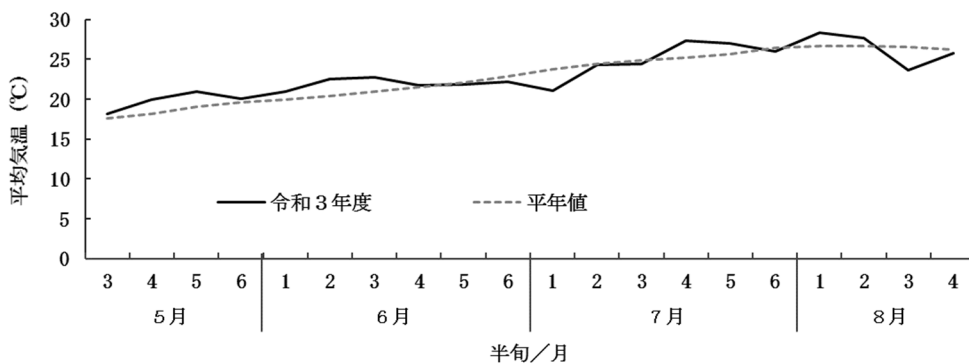


図1 半旬別気温の推移（5月3半旬～8月4半旬、佐倉市アメダス）

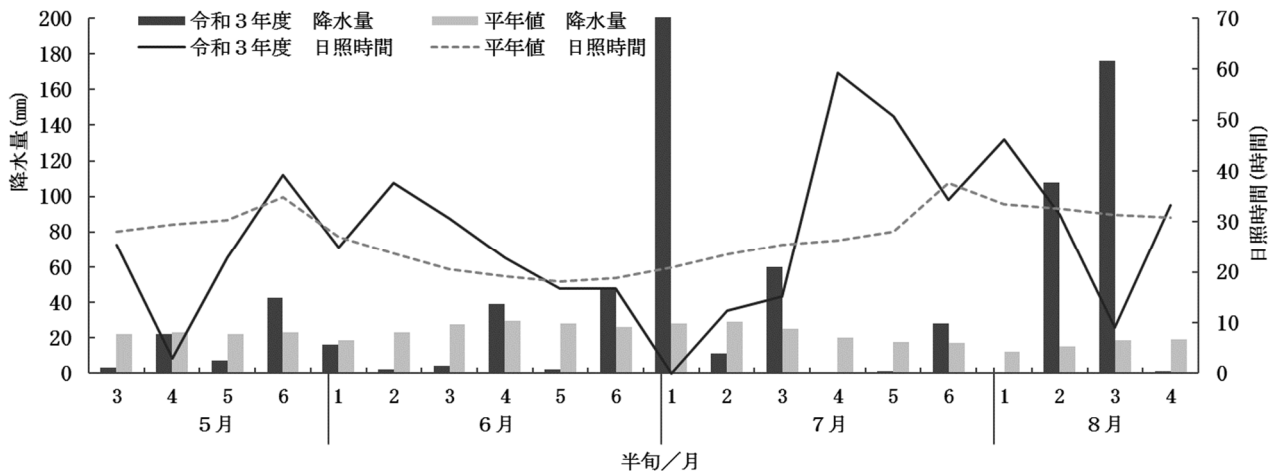


図2 半旬別積算降水量及び半旬別積算日照時間の推移
(5月3半旬～8月4半旬、佐倉市アメダス)

表1 出品品種(系統)の点数及び上位入賞品種名と出品社名

出品番号	平均点	順位	等級	品 種 名	出 品 社
9	86.67	1	1等特	スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ	(株)ハクサン
12	85.67	2	2等	カラーラッシュホワイト	(株)ミヨシグループ
13	79.50	3	3等	スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル	(株)ハクサン
11	78.33	4	3等	スーパーチュニア ビスタ スノー	(株)ハクサン
6	76.67	5	3等	ビューティカル ボルドー	(株)サカタのタネ
7	76.50	6			
5	75.33	7			
8	74.50	8			
14	71.83	9			
2	71.50	10			
15	70.17	11			
3	69.17	12			
4	67.33	13			
1	64.33	14			
10	61.83	15			

- 注1) 審査日：令和3年7月14日
 2) 土壌消毒：3月31日バスマイド微粒剤散布(30kg/10a)及びポリフィルム被覆、4月19日被覆除去
 3) 施肥：5月7日被覆複合ハイコントロール 085-70 (N:P₂O₅:K₂O=10:18:15) 90kg/10aを基肥として全面土壌混和、生育期間中の追肥はなし
 4) 定植：5月14日、出品番号14は植え傷みがあったため5月26日に2株補植した
 5) 栽植方法：株間・条間各30cm(試験区：畝幅1.2m×畝長1.8m、区間0.5m、通路幅1.0m)
 6) 区制：1区20株(4×5=20株)、2反復
 7) かん水：散水チューブにより随時かん水
 8) 除草：6月10日及び7月1日の計2回
 9) 花がら摘み：7月5～7日の1回

表2 出品品種の被覆率(写真1)と花つき(写真2)

順位	品種名	6月14日		7月9日		8月19日	
		被覆率(%)	花つき	被覆率(%)	花つき	被覆率(%)	花つき
1	スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ	95	5	90	4	80	5
2	カラーラッシュホワイト	100	4	95	4	100	5
3	スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル	50	5	70	1	90	4
4	スーパーチュニア ビスタ スノー	95	5	95	4	90	1
5	ビューティカル ボルドー	95	5	90	3	40	1
全品種平均		87.3	4	84.3	2.5	64.3	3.6



60%



70%



80%



90%



100%

写真1 被覆率判定基準
花壇スペースに対する緑色部分の割合を目視で評価



写真2 花つき指数5段階評価基準
 花壇スペースに対する花卉の占有度合を5段階（1：悪い～5：良い）で評価



写真3 1等特別賞 「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」(株)ハクサン
 左：6月14日撮影、右：7月9日撮影



写真4 2等 「カラーラッシュホワイト」(株)ミヨシグループ
 左：6月14日撮影、右：7月9日撮影



写真5 3等 「スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル」(株)ハクサン
 左：6月14日撮影、右：7月9日撮影



写真6 4等 「スーパーチュニア ビスタ スノー」 (株) ハクサン
左：6月14日撮影、右：7月9日撮影



写真7 5等 「ビューティカル ボルドー」 (株) サカタのタネ
左：6月14日撮影、右：7月9日撮影

[発表及び関連文献]

- 1 種苗界 (2021年9月号 (第74巻、第8号))
- 2 令和4年度試験研究成果発表会 (花植木Ⅱ)

[その他]